



# 町長室の窓

No. 53

歳月人を待たずで、今年も年の瀬が迫ってきました。多事多難の一年でしたが、町制五十周年の年を締めくくるにふさわしいニュースを三つお届けします。

まずは、平生中学校駅伝チームが県大会で男・女揃って優勝するという快挙を達成しました。町民にとっても大きな誇りであり、選手の健闘を称えるところにも、関係者の方々に心からお慶び申し上げます。今月十八日の全国大会（千葉県）には、女子は五年連続六回目、男子は初出場となりますが、レベルも高く、きつと素晴らしい活躍で「平生」の名前を再び全国に発信してくれることでしょう。

次に、佐賀小学校PTAが文部科学大臣表彰を受賞。今日までの親と子のふれあいや

## テレビのデジタル化控え 周東中継局 のチャンネル変更

新しいテレビ放送、「地上デジタルテレビジョン放送」は、山口県内でも今年10月、山口市や岩国市などから開始され、順次サービスエリアが広がる予定です。

デジタルテレビ放送を開始するためには、現在のアナログテレビのチャンネルの整理が必要となり、一部の中継局ではチャンネル変更を行います。

これに伴い、周東中継局をご覧の方には、現在のテレビのチャンネル設定の変更や、場合によってはアンテナの取り替えの工事をお願いする必要があります。

周東テレビ中継局（氷室岳）のチャンネル変更は、来年1月10日（火）から始まり、山口朝日放送のチャンネルが、次のように変わります。（変更期間は、来年3月10日までの予定）

Y A B（山口朝日放送）	
2 3	5 2

対策工事は、総務大臣の指定を受けて対策作業にあたる社団法人電波産業会「山口受信対策センター」に登録されたテレビ受信対策員が実施し、ご家庭での工事費用は、国が負担することとなっております（店舗・工場・オフィス・ホテルなどの対策は、自費で行っていただく必要があります）。

（チャンネル変更は、テレビの説明書などを見ていただければご自分でも出来ます。）

受信対策員は、センターが発行する身分証明書や「テレビ受信対策員」の腕章を携帯しています。

同じような工事を装った不審な訪問や勧誘など、悪徳商法には十分ご注意ください。

問合せ先  
山口地域受信対策センター  
Tel (0120) 880496

絆を深める、地域に根差した実践活動が高く評価されたもので、皆さんの熱意と努力に改めて敬意を表します。佐賀小はこれまで、平成十一年に「学校安全」、平成十四年に「学校給食」の分野で文部（科学）大臣表彰を受けるなど、その存在感をしっかりと示しています。それも、こうしたPTAをはじめ地域の方々の暖かい支えがあったことで、町にとつて又一つ、勲章がふえることになりました。

三つ目は、あの人間魚雷「回天」がゆかりの地、この平生に帰ってきます。

主演することもあって、注目度が高まっています。

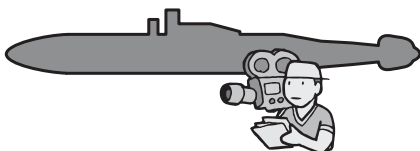
この映画のもう「一人」の主役は、当時の設計図をもとに忠実に再現された「回天」です。レプリカとはいえ、実物そっくりの回天にはゾクゾク、とするような迫力を感じます。この撮影で使用された

## 年の瀬の朗報

今、映画『出口のない海』が話題を呼んでいます。特攻隊員の青春を描いた、横山秀夫さんの小説を山田洋次さんが脚本化、下関出身の佐々部監督のもと、来秋の全国公開にむけ、撮影が進行中です。県内でもロケが実施され、歌舞伎俳優の市川海老蔵さんが

回天は、多くの引き取り希望が殺到しましたが、松竹関係者の特別のご厚意により、平生に譲り受けることになりました。本当に有難く、喜びに耐えません。

戦後の回天にかかわる歴史は封印された歴史でもありません。戦争の真実を甦らせる「証人」として、人命の尊重と平和の大切さを後世に伝えてゆくシンボルとして生かしてゆきたいものです。



山田 健一